

# 活動紹介

## ～楽しかったね(^o^)ふれあいまつり～

10月26日(日)、第5回さらら浜自然観察公園ふれあいまつりが開催されました。



午前10時、簡単な開会行事のあと工作、ゲームなどのコーナーがオープン。ぜんざい無料券は早々となくなり、焼き芋の売れ行きも好調です。人気の餅つき体験では子供たちの笑顔と歓声があふれていました。ウォークラリー、バードウォッチングなどの戸外行事では一時小雨が降りましたが、参加された方々に秋の公園を満喫して頂けたと確信できました。またショートプログラムチームの新作紙芝居「韓国のおともだち クロツラヘラサギのクンちゃん」が初公開されました。この日の来園者約600名。公園の秋にふれながら、葦の会の「おもてなしの気持ち」に加え、まつり最後のプログラム、お楽しみ抽選会でのプレゼントをお土産に持って帰って頂きました。

## ～頑張りました、ふれあいまつり～ 一般対応チーム



ふれあいまつりのプログラムのひとつ、バードウォッチングを実施しました。時折り小雨がパラつく空模様でしたが、カモ類、サギ類、カワウ、ミサゴなどなど常連のトリたちがお出迎え。30余名の参加者はチームメンバーのガイドに顔をきつつ中央園路往復のコースを約1時間歩きました。まつりのメインプログラムであったバードウォッチング、大事な役目を無事に終えほっと肩の荷を降ろしました。



## ～大きく育てシリブカガシの森～ 環境サポートチーム

11月23日、汽水池沿いの樹林帯にシリブカガシ(尻深榿)の種を植えました。ブナ科の常緑高木で日本では近畿以西に生育します。成長すると高さ8~10mにおよび、秋に花が咲き翌年の秋に実がなります。群生すると秋に開花する木と結実する木が見られることとなります。シリブカガシの名の由来は実(ドングリ)の枝についている部分が他のドングリに比べ深くえぐれたようになっていることに由来するそうです。シリブカガシのドングリは磨くと美しく光り輝くことから「ドングリの宝石」と呼ばれています。但し、この木は雌雄異花で雌雄が揃わないとドングリができないそうです。大きく育てて美しいドングリを子供たちにプレゼントしてくれる日が来ることを夢見ながら、この日10余粒ほど丁寧に植えつけました。因みにシリブカドングリは食用になり染色用にも使われます。その材は船材として重宝されていたようです。